

19. 眼科 ジュニア・レジデントプログラム

1. 指導責任者：中村精吾（眼科部長）

2. 期間：4 週間、(2 年目選択)

3. 目標

【一般目標 GIO】

眼科領域の主要疾患に関する基礎知識、検査機器を用いた診断技術、および手術を含む眼科疾患の基本的な治療を学ぶ。眼科志向者に対する導入とすると同時に、将来他部門に進んだ場合も眼科専門医へのコンサルテーションが適切に行えるようになる。

【個別目標 SBO's】

- 1) 視覚障害を有する患者とのコミュニケーションがとれる。
- 2) コメディカルと共に、検査機器を用いて眼科一般検査（屈折・視力検査、眼圧測定、視野検査）が行える。
- 3) 細隙灯顕微鏡、眼底鏡を用い、前眼部、水晶体、硝子体、視神経、網膜の所見がとれる。
- 4) 点眼薬の基礎知識、薬効、副作用を知った上で、適切に非観血治療（点眼、洗眼）が行える。
- 5) 入院患者の術前・術後管理、検査・治療ができる。
- 6) 手術機器の取り扱い、手術助手ができる。
- 7) 白内障、緑内障、糖尿病網膜症の病態生理を理解した上で、診断、治療、フォローアップが行える。

4. 方略LS

週間スケジュール

	月	火	水	木	金	土
午前	外来業務	外来業務	症例検討 外来業務	外来業務	症例検討 外来業務	外来業務
午後	特殊検査	手術	特殊検査	手術	コンタクト レンズ外来	特殊検査

LS1 (OJT)

必要時に随時症例検討を行う。

時間外緊急手術あり。

手術は顕微鏡モニタにて見学し手技の理解を得る。

手術助手を期間中に数回経験する。

LS2 (勉強会)

第3週火曜 院内症例検討会、セミナー

5. 評価EV

指導医により適宜形成的評価を行い、個別目標7項目の達成度をみる。

EPOC入力に加えて、ローテーションの終了時、経験症例についてレポートを提出してもらう。